

【AKT 秋田テレビ 2026 年度 第 3 回放送番組審議会】

秋田テレビの 2026 年度第 3 回放送番組審議会（江島清彦会長）が、6 月 26 日開かれ、5 月 30 日に放送された 第 35 回 FNS ドキュメンタリー大賞ノミネート作品「それでも、灯りはともる～秋田・上桧木内 紙風船がつなぐ冬と春～」について審議した。

昨年 8 月、記録的豪雨に見舞われた仙北市上桧木内地区。地域唯一の旅館は浸水し、女将の中島さんは最愛の夫も失った。深い喪失の中、全国から集まったボランティアの支えが、少しずつ日常を取り戻す力となっていく。復興の途中にある町で、人が支え合いながら暮らしを続けていく姿を追った。

委員からは、「日本的なボランティアのやさしさが伝わってきた。」「起承転結がはっきりとしていて、時系列で見やすかった。半年以上にわたって、よく取材されていた。」「女将さんが今後どういうふうに生きていくのか興味が湧いた。」などの評価があった一方、「女将が、紙風船を見ずに帰ったのが気になる。」

「淡々としすぎていて、見ている人に感動を与える部分がなかった。」「番組タイトルと内容に少し違和感があった。」といった指摘もあった。